



2026年8月16日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

9,968万kW

18時30分、99,685 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

3,810万kW

11時、38,103 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

132万kW

20時、1,319 MW

◇ 再エネ最大需要比

52.3%

11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

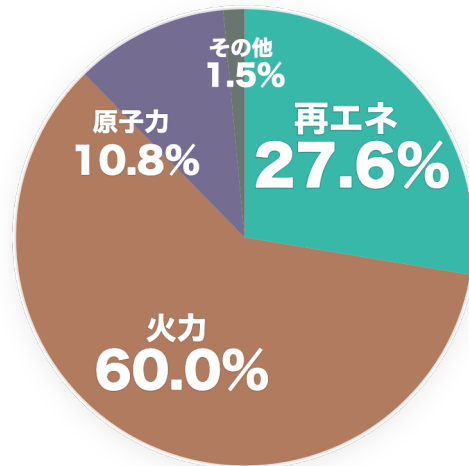
東京

121 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

109 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 51.0%

40.8 GWh

出力抑制量

1.4 GWh

最大: 東北 1.4 GWh

揚水・蓄電の充電

80.4 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:30に3,144万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで51.0%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	27.6%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	582 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,106 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	52.3%	11時
出力抑制量	1.4 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	80.4 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	51.0%	40.8	0.0	送電 7.4
東北	37.9%	113	1.4	送電 109
東京	20.4%	114	0.0	受電 121
中部	39.4%	99.0	0.0	受電 49.4
北陸	37.2%	24.9	0.0	送電 5.9
関西	16.9%	53.8	0.0	受電 36.3
中国	21.9%	32.7	0.0	送電 6.8
四国	20.9%	20.7	0.0	送電 38.8
九州	31.0%	80.3	0.0	送電 19.9
沖縄	11.3%	3.3	0.0	—



2026年8月16日の供給実績

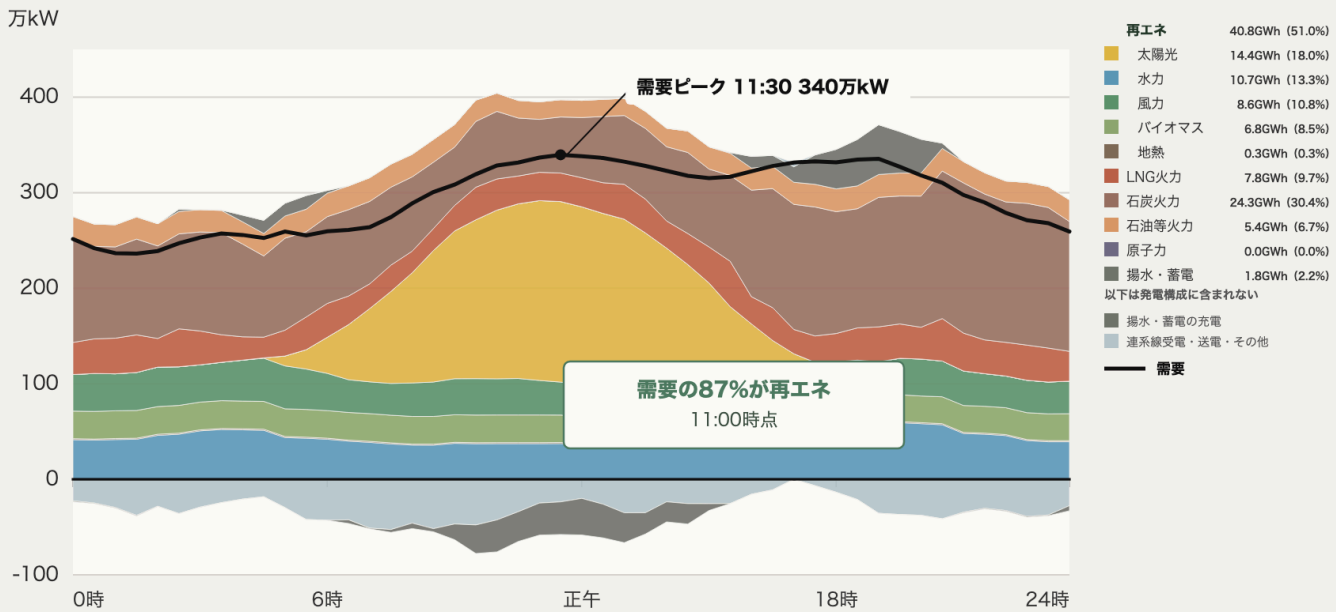
北海道エリア

再エネ

40.8GWh

(発電電力量ベース51.0%)

北海道エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.0GWh

需要ピーク

11:30、340万kW

連系線・その他

7.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク189万kW、風力ピーク45万kWで、時間別の再エネ最大需要比は87.0%だった。



2026年8月16日の供給実績

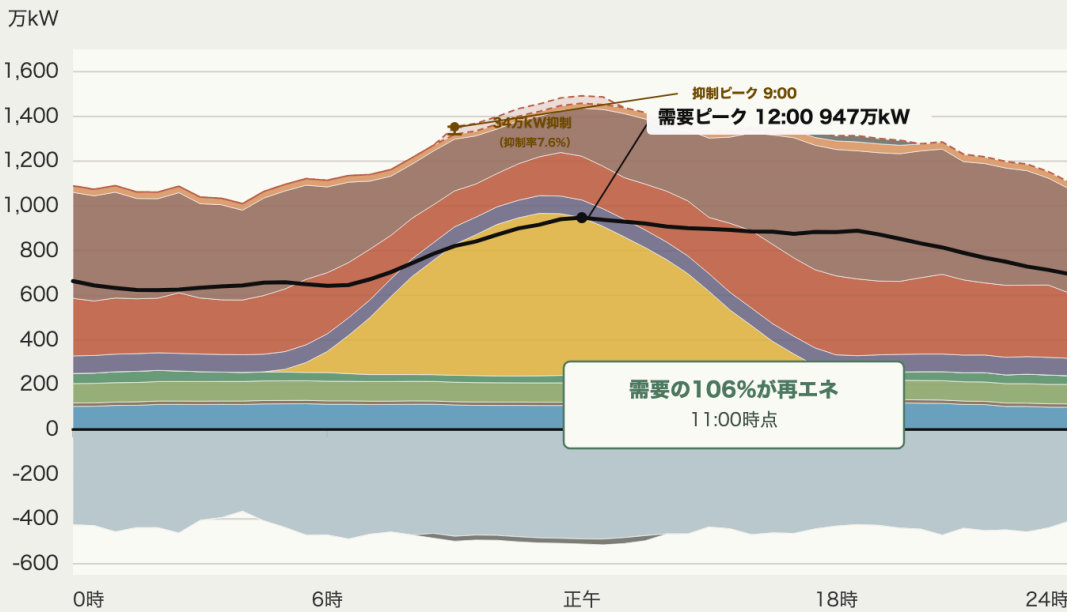
東北エリア

再エネ

112.9GWh

(発電電力量ベース37.9%)

東北エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 298GWh
(2,979万kWh)

再エネ	112.9GWh (37.9%)
太陽光	53.2GWh (17.8%)
水力	26.6GWh (8.9%)
風力	8.8GWh (3.0%)
バイオマス	20.8GWh (7.0%)
地熱	3.5GWh (1.2%)
LNG火力	62.7GWh (21.1%)
石炭火力	95.8GWh (32.1%)
石油等火力	7.0GWh (2.3%)
原子力	18.9GWh (6.3%)
揚水・蓄電	0.6GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量

火力 1.4GWh
本邦発電可能量の0.8%

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

297.9GWh

需要ピーク

12:00、947万kW

連系線・その他

108.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.3GWh

出力抑制

1.4GWh

概況

東北は、太陽光ピーク727万kW、風力ピーク50万kWで、時間別の再エネ最大需要比は105.6%だった。



2026年8月16日の供給実績

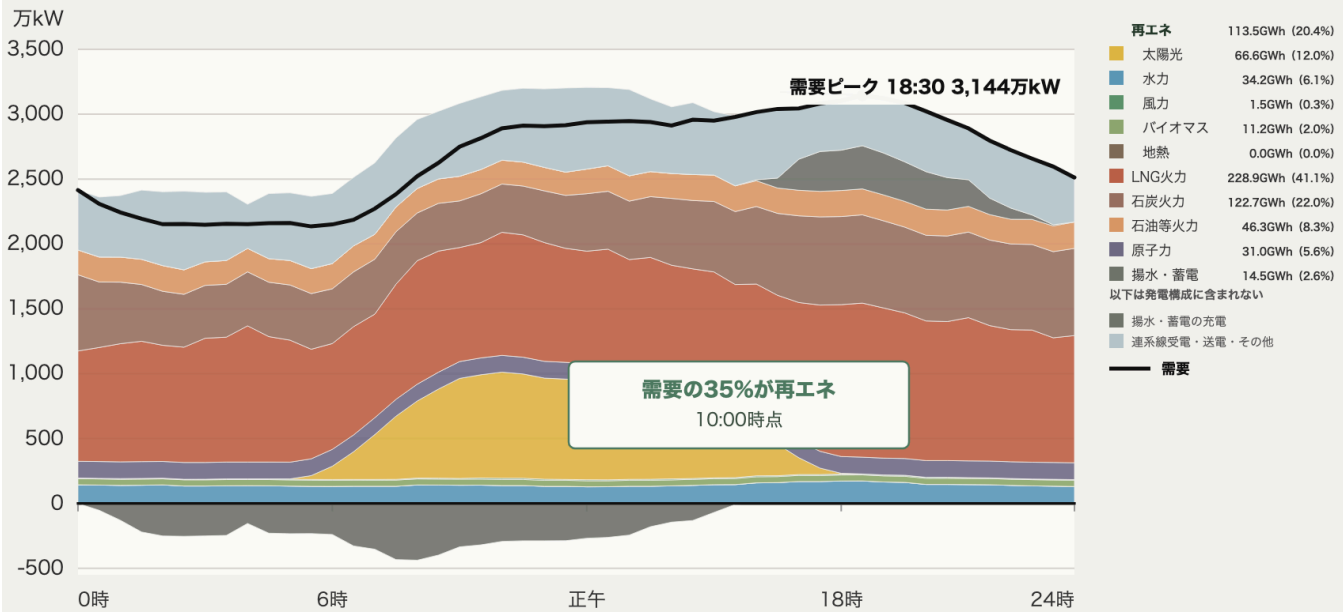
東京エリア

再エネ

113.5GWh

(発電電力量ベース20.4%)

東京エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

557.1GWh

需要ピーク

18:30、3,144万kW

連系線・その他

121.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

37.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク818万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.2%だった。



2026年8月16日の供給実績

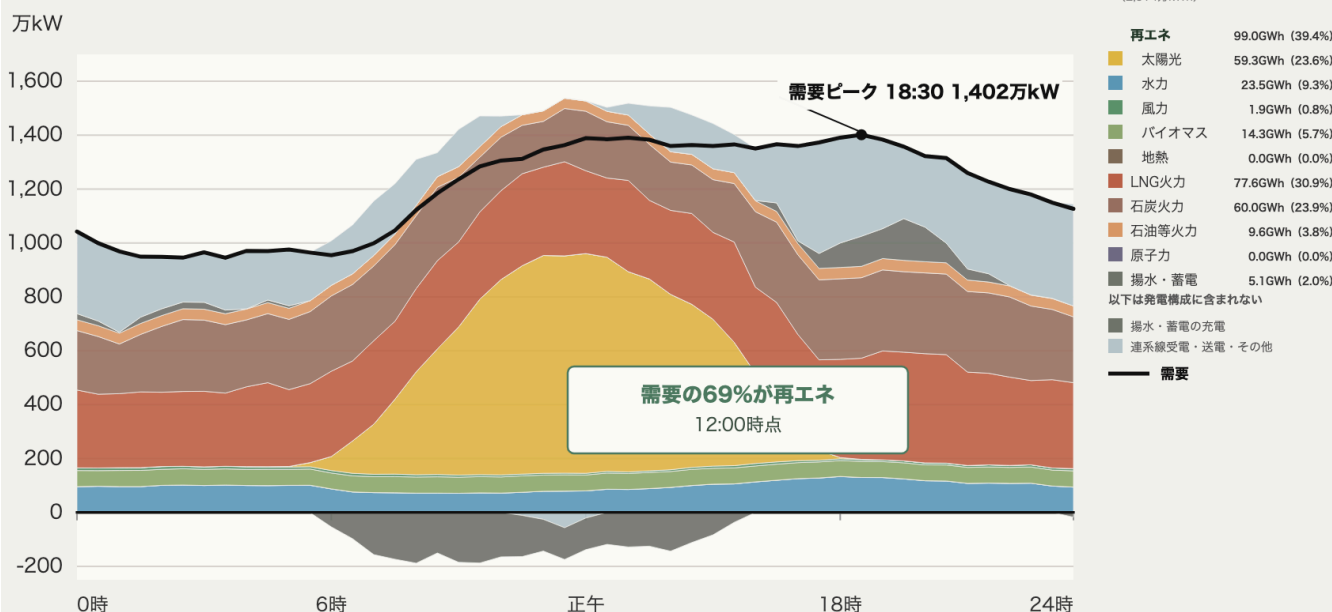
中部エリア

再エネ

99.0GWh

(発電電力量ベース39.4%)

中部エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

251.4GWh

需要ピーク

18:30、1,402万kW

連系線・その他

50.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

13.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク816万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.8%だった。



2026年8月16日の供給実績

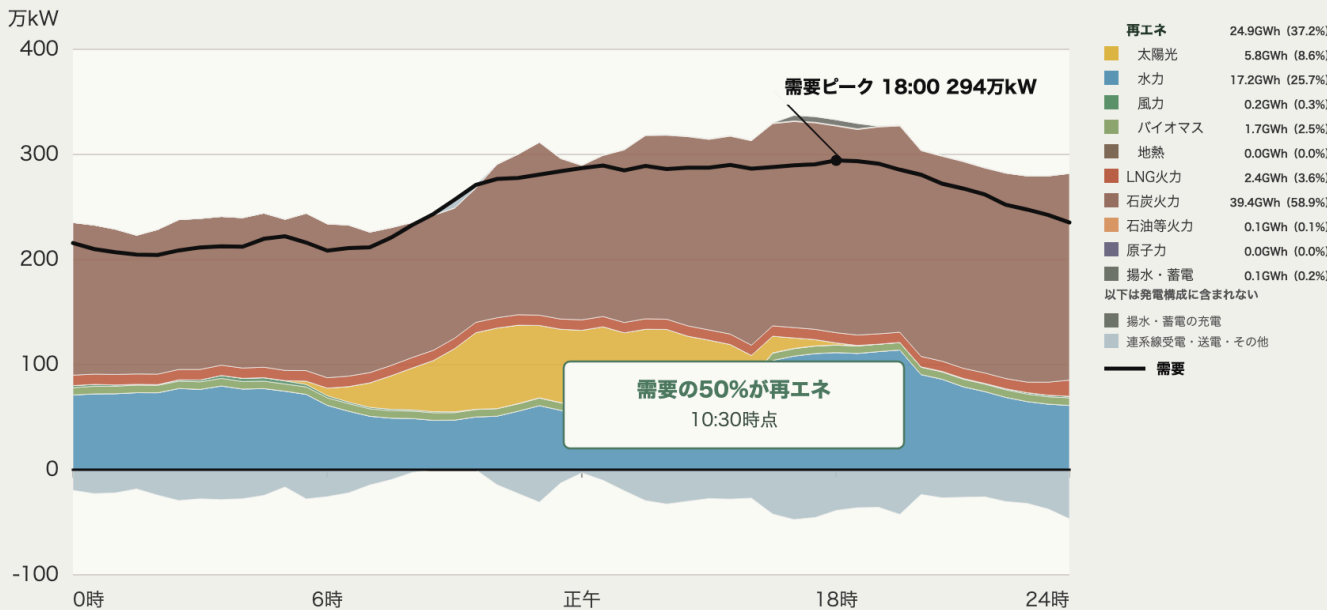
北陸エリア

再エネ

24.9GWh

(発電電力量ベース37.2%)

北陸エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

66.9GWh

需要ピーク

18:00、294万kW

連系線・その他

5.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク77万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.5%だった。



2026年8月16日の供給実績

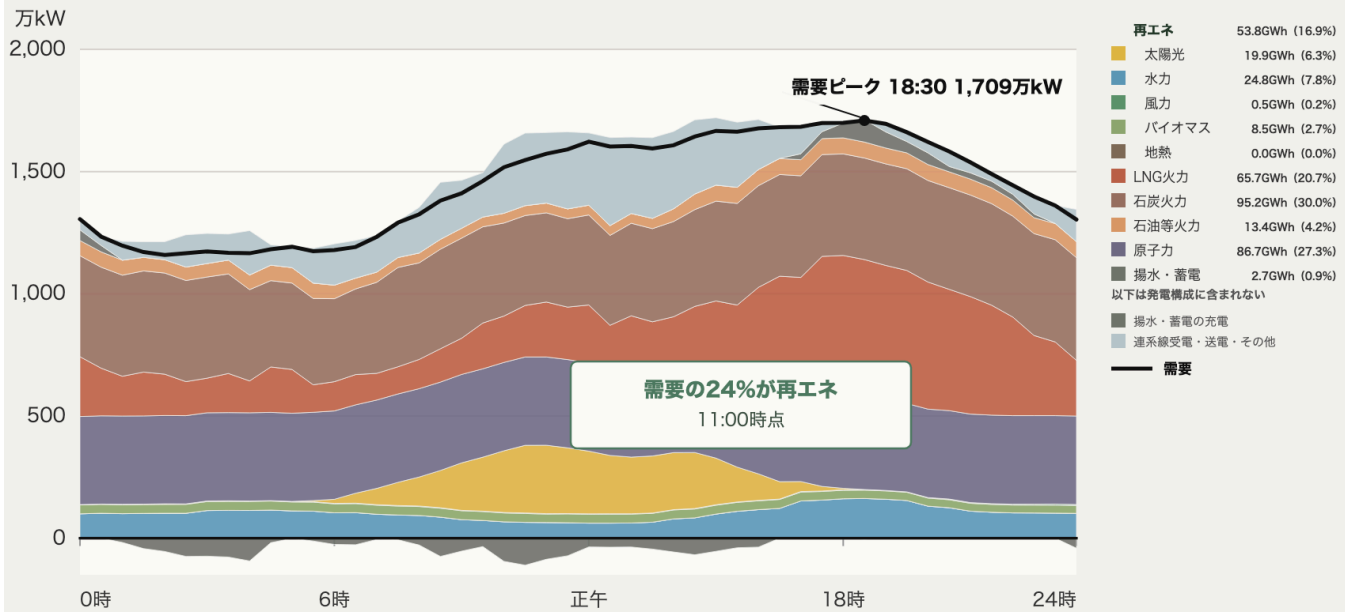
関西エリア

再エネ

53.8GWh

(発電電力量ベース16.9%)

関西エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

317.5GWh

需要ピーク

18:30、1,709万kW

連系線・その他

36.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

7.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク280万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.6%だった。



2026年8月16日の供給実績

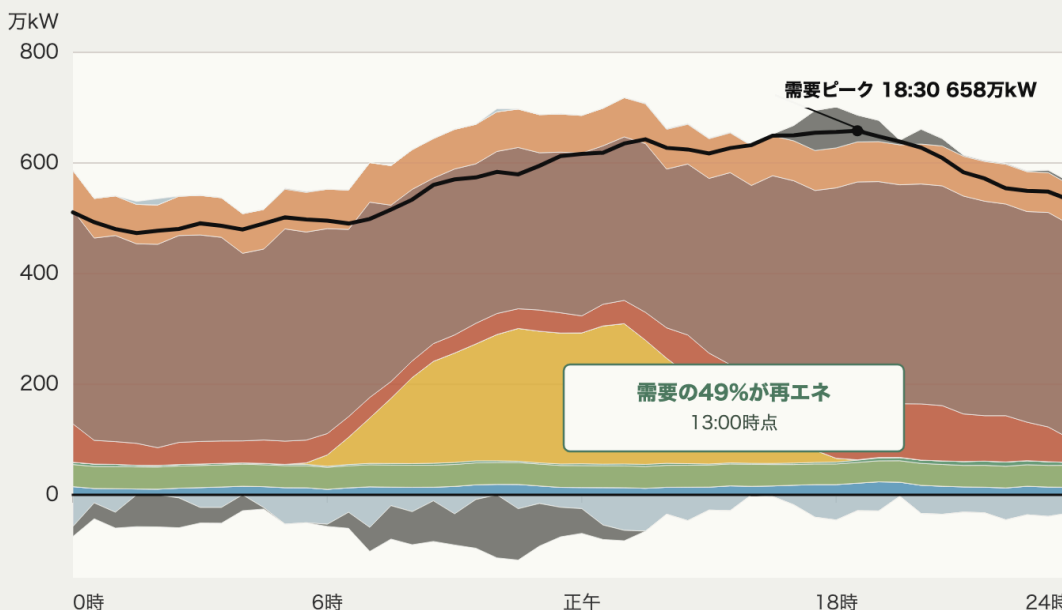
中国エリア

再エネ

32.7GWh

(発電電力量ベース21.9%)

中国エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 149GWh
(1,489万kWh)

再エネ	32.7GWh (21.9%)
太陽光	18.8GWh (12.6%)
水力	3.6GWh (2.4%)
風力	0.9GWh (0.6%)
バイオマス	9.5GWh (6.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	13.4GWh (9.0%)
石炭火力	84.1GWh (56.4%)
石油等火力	17.1GWh (11.5%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.7GWh (1.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

148.9GWh

需要ピーク

18:30、658万kW

連系線・その他

7.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク254万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.9%だった。



2026年8月16日の供給実績

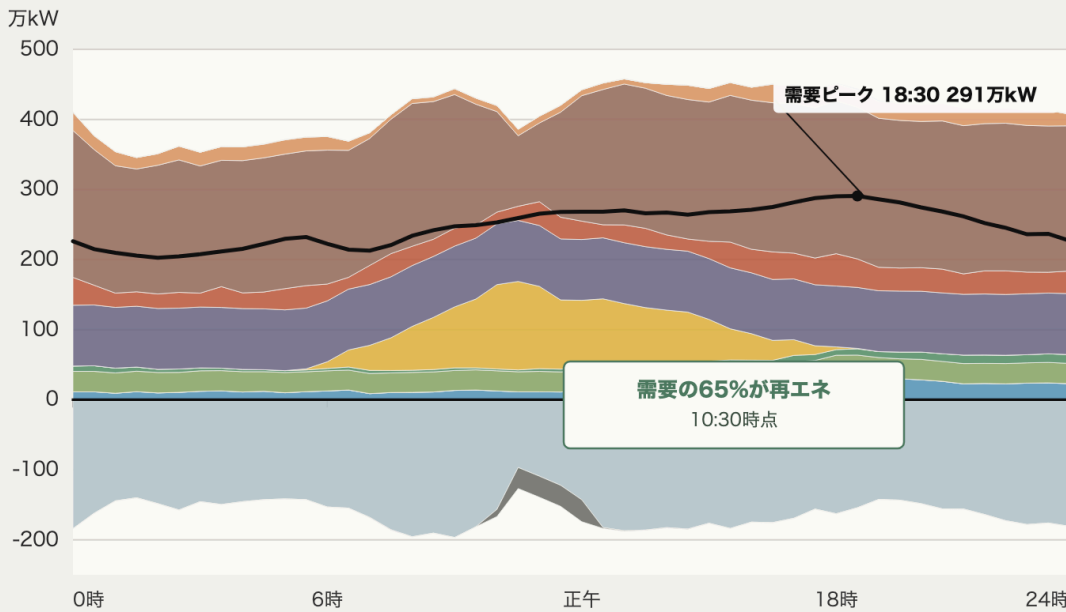
四国エリア

再エネ

20.7GWh

(発電電力量ベース20.9%)

四国エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 99GWh
(988万kW)

再エネ	20.7GWh (20.9%)
太陽光	8.1GWh (8.2%)
水力	4.1GWh (4.1%)
風力	1.6GWh (1.6%)
バイオマス	6.9GWh (7.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	6.8GWh (6.9%)
石炭火力	46.2GWh (46.8%)
石油等火力	4.1GWh (4.2%)
原子力	20.8GWh (21.1%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

98.8GWh

需要ピーク

18:30、291万kW

連系線・その他

38.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク126万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.1%だった。



2026年8月16日の供給実績

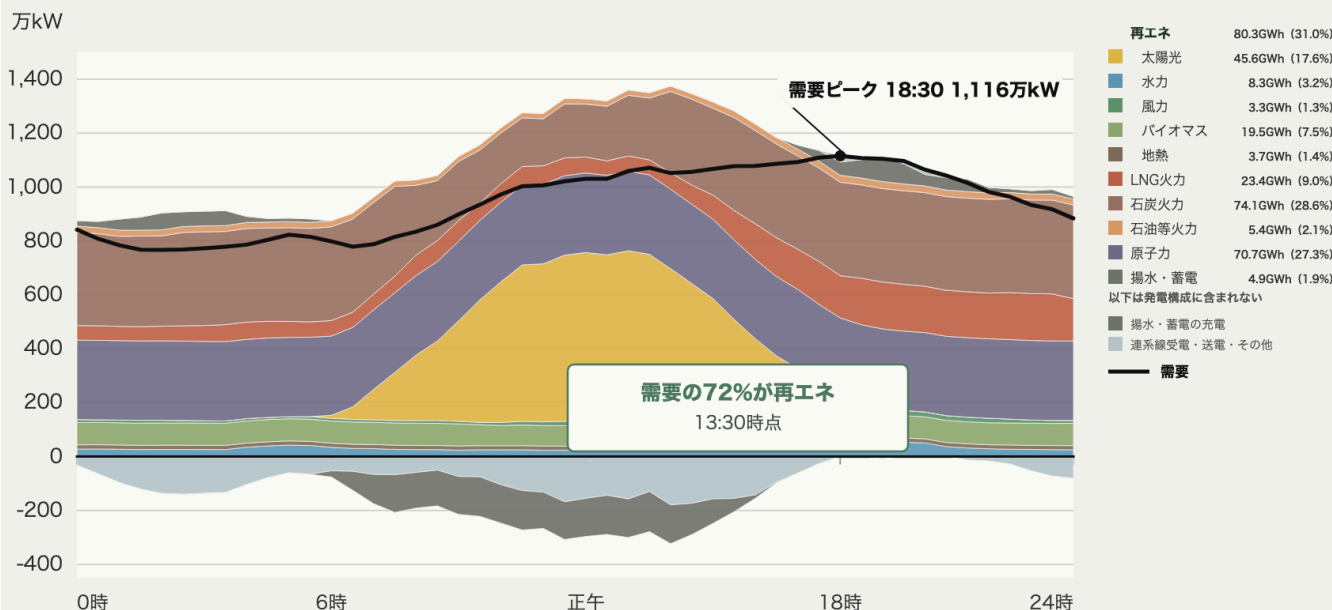
九州エリア

再エネ

80.3GWh

(発電電力量ベース31.0%)

九州エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

258.7GWh

需要ピーク

18:30、1,116万kW

連系線・その他

20.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

12.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク629万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.4%だった。



2026年8月16日の供給実績

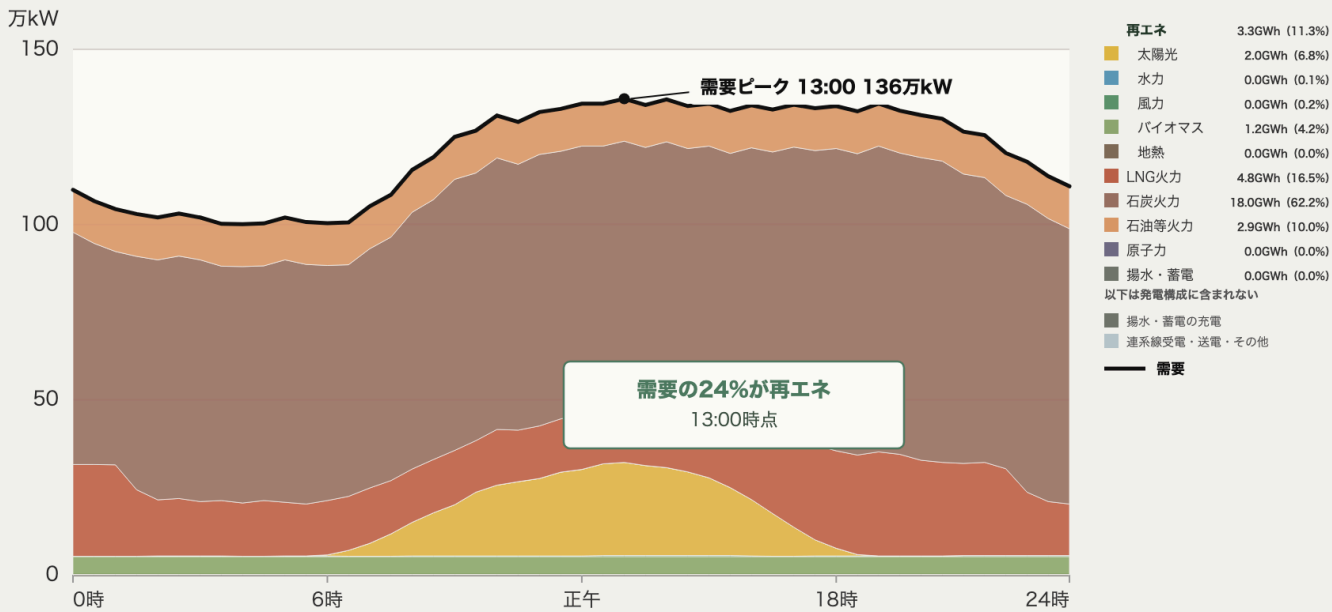
沖縄エリア

再エネ

3.3GWh

(発電電力量ベース11.3%)

沖縄エリア 2026年8月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

28.9GWh

需要ピーク

13:00、136万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.6%だった。